



Sun Ultra™ 40 Workstation 導入ガイド

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-5543-10
2006 年 1 月、改訂 A

このマニュアルに関するご意見は、次の Web サイトからお送りください。 <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書に記載されている技術に関連する知的所有権を所有しています。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されている 1 つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における 1 つまたは複数の特許または申請中の特許が含まれます。

本書および本製品は、その使用、複製、再頒布および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Sun Microsystems, Inc. またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティソフトウェア (フォントに関するテクノロジーを含む) は、著作権を有する当該各社より Sun 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、Sun 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Ultra, Java, および Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべての SPARC の商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスの基に使用される、米国およびその他の国における同社の商標または登録商標です。SPARC 商標の付いた製品には、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャーが採用されています。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun 社は、ビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェイスの概念を先駆的に研究、開発し、コンピュータ業界に貢献した Xerox 社の業績を高く評価いたします。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装し、そうでなければ書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

米国政府の権利—商用。政府関連のユーザーは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

本書は、「現状のまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. a les droits de propriété intellectuelle relatants à la technologie qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuelle peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, AnswerBook2, docs.sun.com, Java, Sun Ultra, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

Toutes les marques SPARC sont utilisées sous licence et sont des marques de fabrique ou des marques déposées de SPARC International, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays. Les produits portant les marques SPARC sont basés sur une architecture développée par Sun Microsystems, Inc.

L'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et Sun™ a été développée par Sun Microsystems, Inc. pour ses utilisateurs et licenciés. Sun reconnaît les efforts de pionniers de Xerox pour la recherche et le développement du concept des interfaces d'utilisation visuelle ou graphique pour l'industrie de l'informatique. Sun détient une licence non exclusive de Xerox sur l'interface d'utilisation graphique Xerox, cette licence couvrant également les licenciées de Sun qui mettent en place l'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et qui en outre se conforment aux licences écrites de Sun.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITÉ MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIÈRE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

はじめに v

1. Sun Ultra 40 Workstation の設置 1

安全上の注意 1

ワークステーションの設置手順 2

前面パネルと背面パネルの外観 5

側面カバーの外観 8

キーボードとマウスの外観 9

ワークステーションのケーブル接続 10

ワークステーションの電源をオンにする 11

ワークステーションの電源をオフにする 11

2. ソフトウェアのインストール 13

オペレーティングシステムのインストール手順 13

プライマリ起動ハードディスクの消去 15

オペレーティングシステムのインストールに必要な BIOS の設定 15

RAID サポートの有効化 17

オペレーティングシステムのインストール 19

up2date ユーティリティの実行 20

ドライバのインストールと診断パーティションのマウント 20

| | |
|--|-----------|
| Linux オペレーティングシステム対応ドライバのインストール | 21 |
| Solaris オペレーティングシステム対応ドライバのインストール | 22 |
| Windows XP オペレーティングシステム対応ドライバのインストール | 23 |
| SLI サポートの設定 | 29 |
| Windows XP での SLI の有効化 | 29 |
| Linux での SLI の有効化 | 30 |
| Sun N1 Grid Engine のダウンロード | 31 |
| 3. インストール済みソフトウェアの設定 | 33 |
| Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアの設定 | 33 |
| ライセンス情報 | 34 |
| ディスクの構成 | 34 |
| Solaris のインストール手順 | 35 |
| インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定 | 36 |
| インストール済みの開発ソフトウェアの設定 | 38 |
| Sun Studio 11 ソフトウェア | 38 |
| Sun Java Studio Creator 2004Q2 Update 8 ソフトウェア | 39 |
| Sun Java Studio Enterprise 8 ソフトウェア | 40 |
| Net Beans IDE 4.1 | 40 |
| インストール済みのソフトウェアの復元とバックアップ | 40 |
| インストール済みソフトウェアの復元 | 40 |
| Solaris のインストール済みソフトウェアの復元 | 41 |
| 他のソフトウェアの再インストール | 42 |
| 別のハードドライブにインストール済みのイメージをバックアップする | 42 |

はじめに

『Sun Ultra 40 Workstation 導入ガイド』では、ワークステーションのハードウェアの設置、電源の投入、および構成と、ソフトウェアの設定について説明します。このマニュアルは、ワークステーションのハードウェアとソフトウェアに関する知識を持つシステム管理者、ネットワーク管理者、およびサービス技術者を対象としています。

内容の紹介

このマニュアルは、次の章で構成されています。

第 1 章では、ワークステーションの開梱、ケーブル接続、および電源投入の方法について説明します。

第 2 章では、**Sun Ultra 40 Workstation** でサポートされるオペレーティングシステムと、システムに付属の補助ドライバについて説明します。

第 3 章では、インストール済みの **Solaris™ 10** オペレーティングシステムとその他の開発ソフトウェアの設定方法について説明します。

シェルプロンプト

| シェル | プロンプト |
|------------------------------|---------------|
| C シェル | machine-name% |
| C シェルスーパーユーザー | machine-name# |
| Bourne シェルと Korn シェル | \$ |
| Bourne シェルと Korn シェルスーパーユーザー | # |

表記上の規則

| 字体 ¹ | 意味 | 例 |
|-----------------|--|--|
| AaBbCc123 | コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。 | .login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 % You have mail. |
| AaBbCc123 | ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。 | % su Password: |
| AaBbCc123 | マニュアルのタイトル、新しい用語、強調する用語。実際の名称や値に置き換えるコマンド行の変数。 | 『ユーザーズガイド』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。 これを実行するには、スーパーユーザーである必要があります。 ファイルを削除するには、rm <ファイル名> と入力します。 |

1. 使用しているブラウザの設定によっては、表示内容が多少異なる場合もあります。

関連ドキュメント

次の表に記載されているマニュアルは、次の URL にアクセスして入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Workstation_Products/Workstations/ultra40/index.html

| 項目 | タイトル | 部品番号 |
|------------|--|----------------------|
| システム設定情報 | Sun Ultra 40 Workstation Setup Guide | 819-3951 |
| 概要とサービス情報 | Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、および トラブルシューティングに関するマニュアル | 819-3952 |
| インストール関連情報 | Sun Ultra 40 Workstation 導入ガイド | 819-3953 |
| 安全上の注意 | Important Safety Information for Sun System Sun Ultra 40 Workstation Safety and Compliance Guide | 816-7190 819-3955 |
| リリースノート | Sun Ultra 40 Workstation リリースノート | 819-3954 |

マニュアル、サポート、および トレーニング

| 項目 | URL | 説明 |
|-----------------|--|--|
| マニュアル | http://www.sun.com/documentation/ | PDF 文書と HTML ドキュメントのダウンロード、および印刷版マニュアルの購入 |
| サポートと トレーニング | http://www.sun.com/support/ http://www.sun.com/training/ | テクニカルサポートの手配、パッチのダウンロード、および Sun の各種トレーニングコース受講 |

サードパーティーの Web サイト

Sun 社は、このマニュアルに記載しているサードパーティーの Web サイトの利用について責任を負いません。また、該当するサイトまたはリソースから入手可能なコンテンツや広告、製品またはその他の素材を推奨したり、責任あるいは法的義務を負うものではありません。さらに、他社の Web サイトやリソースに掲載されているコンテンツ、製品、サービスなどの使用や依存により生じた実際のまたは疑わしい損害や損失についても責任を負いません。

コメントをお寄せください。

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心掛けており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。コメントは次のサイトを通してお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、このマニュアルのタイトルと部品番号 (Sun Ultra 40 Workstation 導入ガイド 819-3953-10) の記載をお願いいたします。

Sun Ultra 40 Workstation の設置

この章では、次の項目について説明します。

- 「安全上の注意」 1 ページの
- 「ワークステーションの設置手順」 2 ページの
- 「パッケージの内容物」 3 ページの
- 「前面パネルと背面パネルの外観」 5 ページの
- 「ワークステーションのケーブル接続」 10 ページの
- 「ワークステーションの電源をオンにする」 11 ページの
- 「ワークステーションの電源をオフにする」 11 ページの

安全上の注意

Sun Ultra 40 Workstation に関する安全上の注意については、次のドキュメントを参照してください。

- 『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』、816-7190 (Sun Ultra 40 Workstation に同梱されている印刷版ドキュメント)
- 『Sun Ultra 40 Workstation Safety and Compliance Guide』、819-2149 (<http://sun.com/documentation> で入手可能)

ワークステーションの設置手順

Sun Ultra 40 Workstation を設置する際に、次のフローチャートを参考として使用してください。

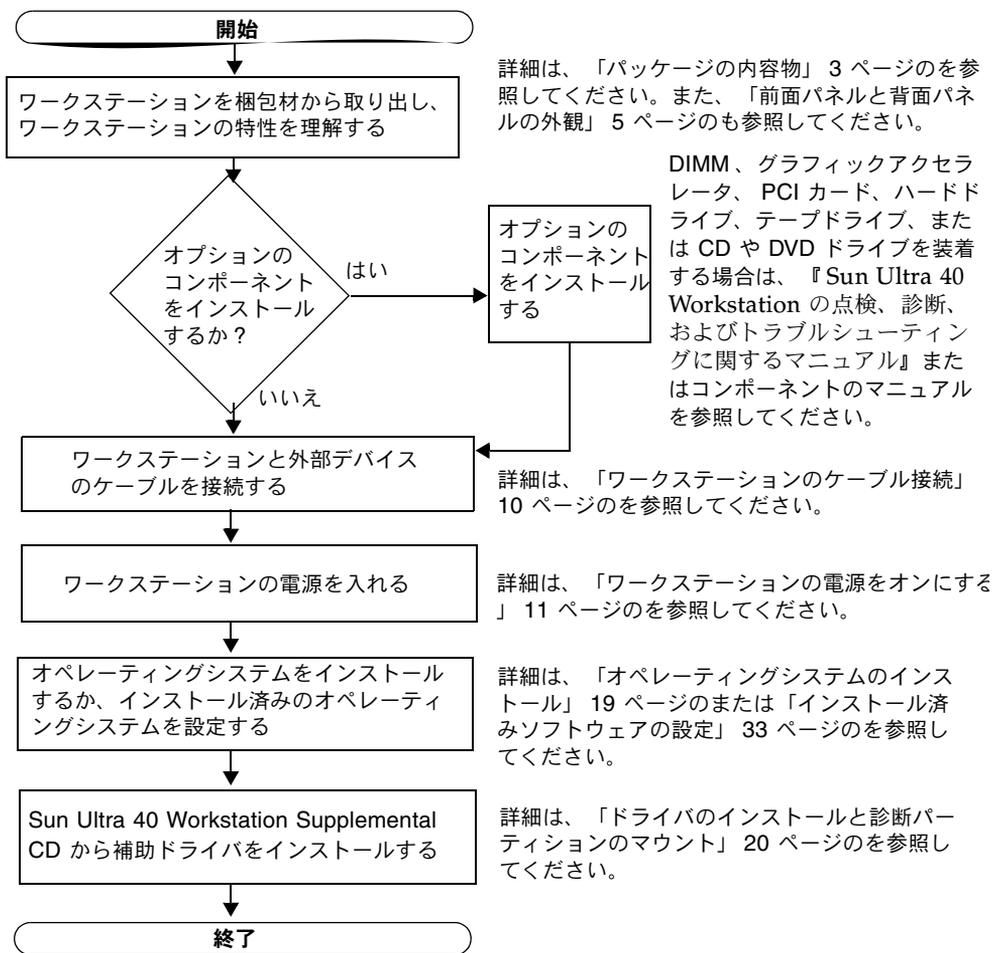


図 1-1 Sun Ultra 40 Workstation の設置手順

パッケージの内容物

パッケージの箱を開けて、ワークステーションのすべてのコンポーネントを慎重に取り出します。Sun Ultra 40 Workstation のパッケージには、次の品目が入っています。

| 品目のタイプ | 品目 |
|------------|---|
| ハードウェア | <ul style="list-style-type: none">• DVI ビデオアダプタ• DMS59 ケーブル (NVS285 グラフィックカードが取り付けられている場合)• SLI コネクタ (SLI に対応したデュアルビデオカードが取り付けられている場合) |
| マニュアル | <ul style="list-style-type: none">• Sun Ultra 40 Workstation Setup Guide• Sun Ultra 40 Workstation リリースノート• Sun Ultra 40 Workstation Where to Find Doclette• ライセンスおよび安全に関するその他のドキュメント |
| メディア | <ul style="list-style-type: none">• Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD (ドライバと診断ソフトウェアを収録)• DVD メディアキット (Sun™ Studio 11、Sun Java™ Studio Creator Update 8、および Sun Java™ Studio Enterprise Update 8 を収録) |
| その他のハードウェア | Type 7 キーボード、マウス、および電源コード (各国用のパーツ一式に収容) |

注 - 次の図に示すように、Sun Ultra 40 Workstation には、取り付け用のスタンドが同梱されています。システムを縦置きにする場合は、このスタンドを図の通りの位置に置く必要があります。

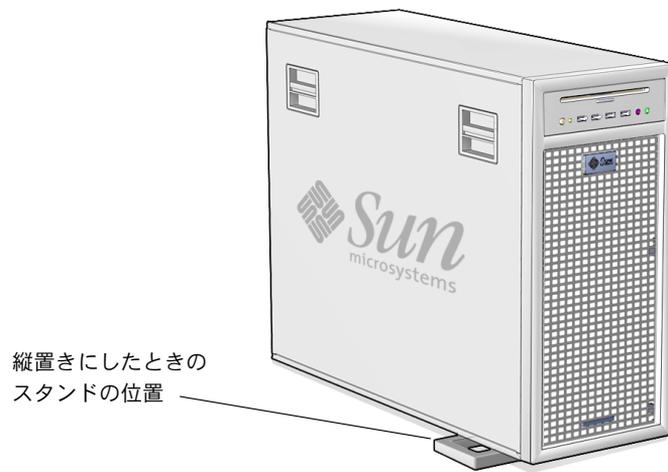


図 1-2 縦置きにした Sun Ultra 40 Workstation

前面パネルと背面パネルの外観

次の図と表に、Sun Ultra 40 Workstation の前面パネルと背面パネルを示します。

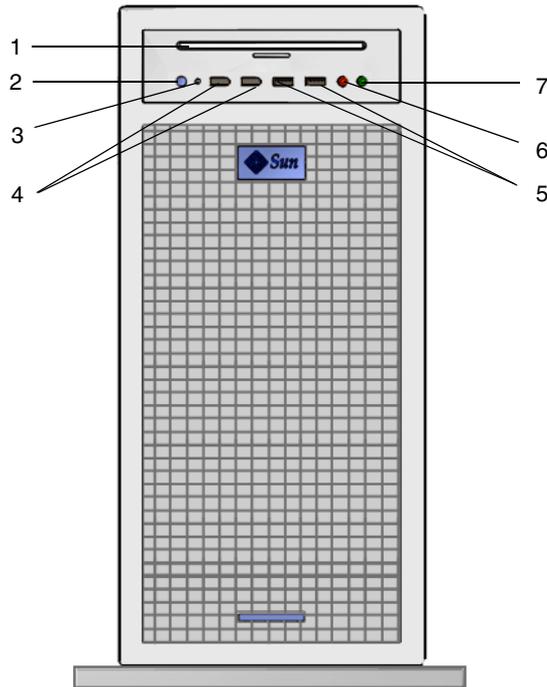


図 1-3 Sun Ultra 40 Workstation の前面パネル

表 1-1 前面パネル

| 番号 | ボタン / LED / ポート |
|----|-----------------|
| 1 | DVD ドライブ |
| 2 | 電源ボタン |
| 3 | 電源 LED |
| 4 | 1394 ポート (2 個) |
| 5 | USB ポート (2 個) |
| 6 | マイク入力ジャック |
| 7 | ヘッドホン出力ジャック |

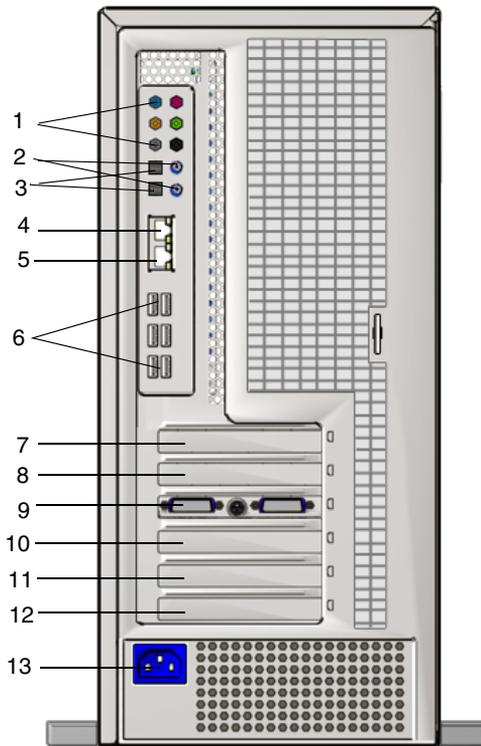


図 1-4 Sun Ultra 40 Workstation の背面パネル

表 1-2 背面パネル

| 番号 | コネクタ/スロット | 番号 | コネクタ/スロット |
|----|--|----|---|
| 1 | オーディオコネクタ (6 個)。左上から右下に次の順に並んでいます。 青：ライン入力、ピンク：マイク入力、オレンジ：センター/LFE、黄緑：ライン出力、グレー：サイドサラウンド出力、黒：バックサラウンド出力 | 8 | PCI-Express x4 スロット (PCI-E 2) |
| 2 | SPDIF 同軸 (上：出力、下：入力) | 9 | プライマリ PCI-Express x16 グラフィックスロット (PCI-E 1) |
| 3 | SPDIF 光学 (上：出力、下：入力) | 10 | PCI 33MHz/32 ビット (PCI 0) |
| 4 | セカンダリーサネットコネクタ (NIC1) | 11 | PCI 33MHz/32 ビット (66MHz/64 ビットカードに対応) (PCI 1) |

表 1-2 背面パネル (続き)

| 番号 | コネクタ / スロット | 番号 | コネクタ / スロット |
|----|---|----|-------------------------------|
| 5 | プライマリイーサネットコネクタ (NIC0) | 12 | PCI-Express x4 スロット (PCI-E 0) |
| 6 | USB コネクタ (6 個) | 13 | 電源コネクタ |
| 7 | セカンダリ PCI-Express x16 グラフックスロット (PCI-E 3) | | |

側面カバーの外観



警告 - 側面カバーを取り外す前に、必ずワークステーションの電源をオフにしてください。必要に応じて、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』(819-3952)を参照して、電源をオフにして側面カバーを取り外す手順を確認してください。

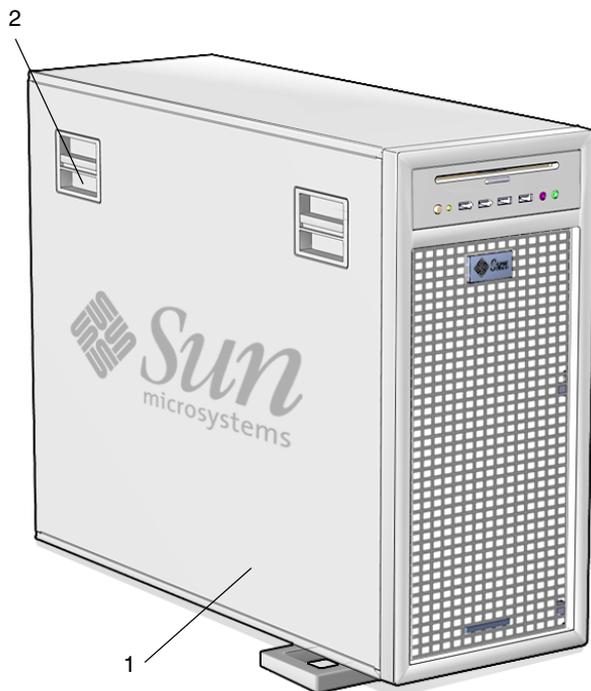


図 1-5 側面カバーのコンポーネントの外観 —Sun Ultra 40 Workstation

表 1-3 側面カバーのコンポーネントの外観

| 番号 | コンポーネントの説明 |
|----|------------|
| 1 | 側面カバー |
| 2 | ラッチ (2 つ) |

キーボードとマウスの外観

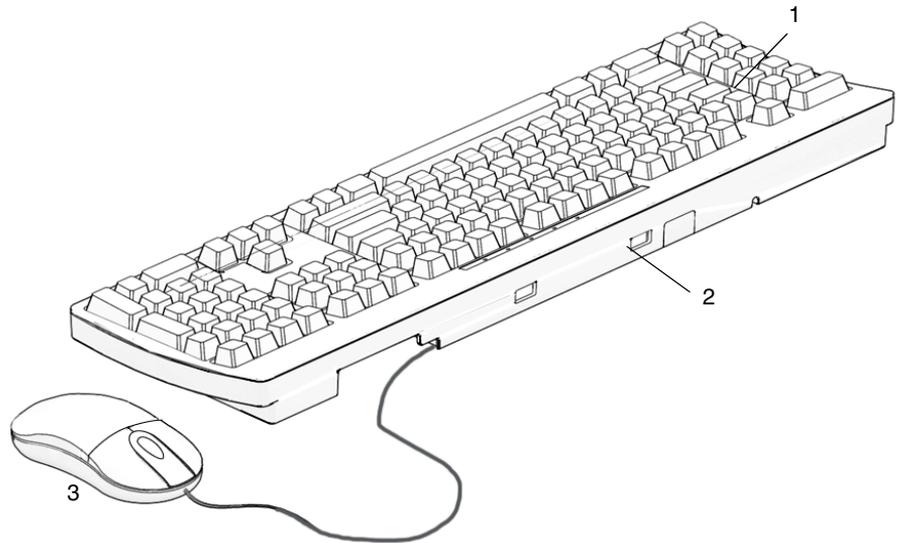


図 1-6 キーボードとマウスのコンポーネントの外観 —Sun Ultra 40 Workstation

表 1-4 キーボードとマウスのコンポーネントの外観

| 番号 | コンポーネントの説明 |
|----|---------------------------------------|
| 1 | キーボード (Type 7) |
| 2 | USB ポート (3 個) (3 つ目の USB ポートはキーボードの下) |
| 3 | スクロールボタン付きマウス |

ヒント - Sun のキーボードおよびマウスデバイスの詳細は、『Sun Type 7 Keyboard Installation Guide』(819-2907) を参照してください。

ワークステーションのケーブル接続

図 1-7 は、ワークステーションのケーブル接続を示しています。

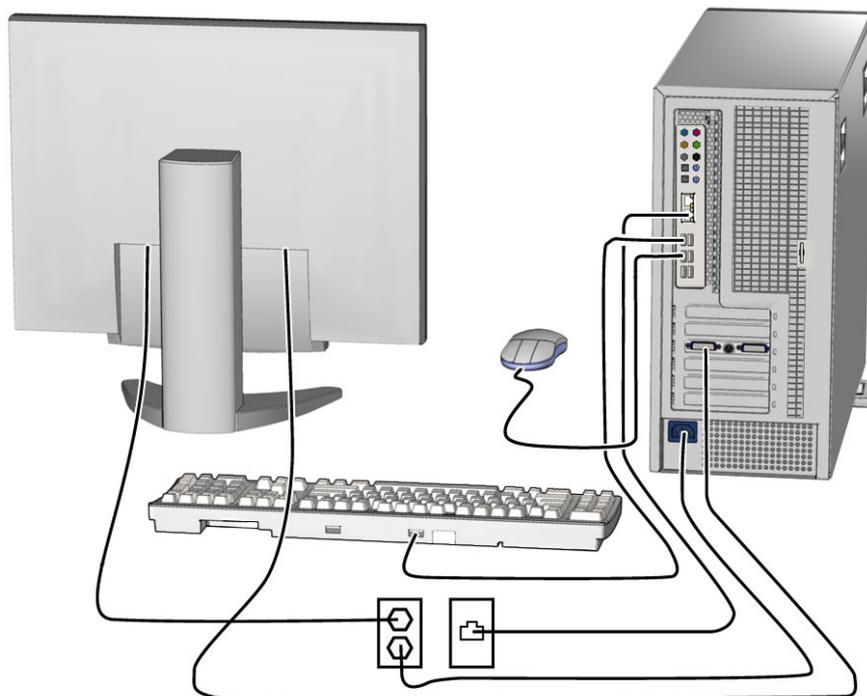


図 1-7 ケーブル接続

ワークステーションと外部デバイスは、次の順序で接続してください(図 1-7 を参照)。

1. ワークステーションの電源コードを、アース付きのコンセントに接続します。
2. キーボードとマウスを、背面パネルの USB コネクタに接続します。
3. PCI-Express グラフィックスロットに取り付けられたグラフィックカードのビデオコネクタに、モニターのケーブルを接続します。
ワークステーションに NVS285 グラフィックカードが取り付けられている場合は、ワークステーションに DMS59 ケーブルが付属しています。
4. イーサネットケーブルの一方の端を Sun Ultra 40 Workstation のイーサネットコネクタに接続し、もう一方の端をイーサネット RJ-45 ジャックに接続します。
5. その他のコネクタに、他の外部デバイスを接続します。

ワークステーションの電源をオンにする

ヒント - その他に DIMM、PCI カード、SLI コネクタ、光学ドライブ、ハードドライブなど、オプションの内部コンポーネントを取り付ける場合は、そのコンポーネントを取り付けてからワークステーションの電源をオンにします。オプションのコンポーネントを取り付けない場合は、この時点でワークステーションの電源をオンにできます。これらのコンポーネントを取り付ける手順は、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』を参照してください。

1. モニターおよびすべての外部デバイスの電源をオンにします。
2. ワークステーションの前面パネルにある電源ボタンを押してから放します (図 1-3 を参照)。
3. 数秒たってから、電源ボタンの横にある電源 LED が点灯していることを確認します。

電源ボタンの横にある電源 LED は、ワークステーション内部の起動プロセスが開始してから点灯します (図 1-3 を参照)。

4. はじめてワークステーションの電源をオンにする場合は、システムの起動が完了してからは、オペレーティングシステムをインストールするか、インストール済みのオペレーティングシステムの設定を行います。
 - オペレーティングシステムのインストール方法については、第 2 章を参照してください。
 - インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定方法については、第 3 章を参照してください。

ワークステーションの電源をオフにする

1. 起動中のアプリケーションのデータを保存し、終了します。
2. 次にワークステーションの電源をオフにする方法について示します。この方法をすべて理解してから電源をオフにしてください。
 - オペレーティングシステムの shutdown コマンドまたはメニューオプションを使用して、ワークステーションの電源をオフにします。

ほとんどの場合は、いずれの操作でもオペレーティングシステムが終了し、ワークステーションの電源がオフになります。

- オペレーティングシステムのコマンドを使用してもワークステーションの電源がオフにならない場合、またはこのコマンドを使用できない場合は、電源ボタンを押してから放します（ボタンの場所は図 1-3 を参照）。

これによって、オペレーティングシステムが通常どおりにシャットダウンされ、ワークステーションの電源がオフになります。

警告 - データの損失を防ぐため、できるだけ上記の 2 つのオプションを使用するようにしてください。

- それでもワークステーションの電源がオフにならない場合は、電源ボタンを 4 秒ほど押したままにします。

これによってワークステーションの電源はオフになりますが、システムのシャットダウンは通常と異なります。この方法で電源をオフにすると、データが損失する可能性があります。

この方法でもワークステーションの電源がオフにならない場合は、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』(819-3952) の「トラブルシューティング」を参照してください。

注 - ワークステーションの電源をオフにした後、次に電源をオンにするまでには 4 秒以上お待ちください。

ソフトウェアのインストール

この章では、次の項目について説明します。

- 「オペレーティングシステムのインストール手順」 13 ページの
- 「オペレーティングシステムのインストールに必要な BIOS の設定」 15 ページの
- 「オペレーティングシステムのインストール」 19 ページの
- 「up2date ユーティリティの実行」 20 ページの
- 「ドライバのインストールと診断パーティションのマウント」 20 ページの
- 「RAID サポートの有効化」 17 ページの
- 「SLI サポートの設定」 29 ページの
- 「Sun N1 Grid Engine のダウンロード」 31 ページの

この章では、インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムを使用しない場合に、オペレーティングシステムをワークステーションにインストールする方法について説明します。

Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD には診断ソフトウェアも収録されています。診断ソフトウェアの使用手順は、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』(819-3952) に記載されています。

オペレーティングシステムのインストール手順

図 2-1 に、ワークステーションにオペレーティングシステムをインストールする際の手順を示します。

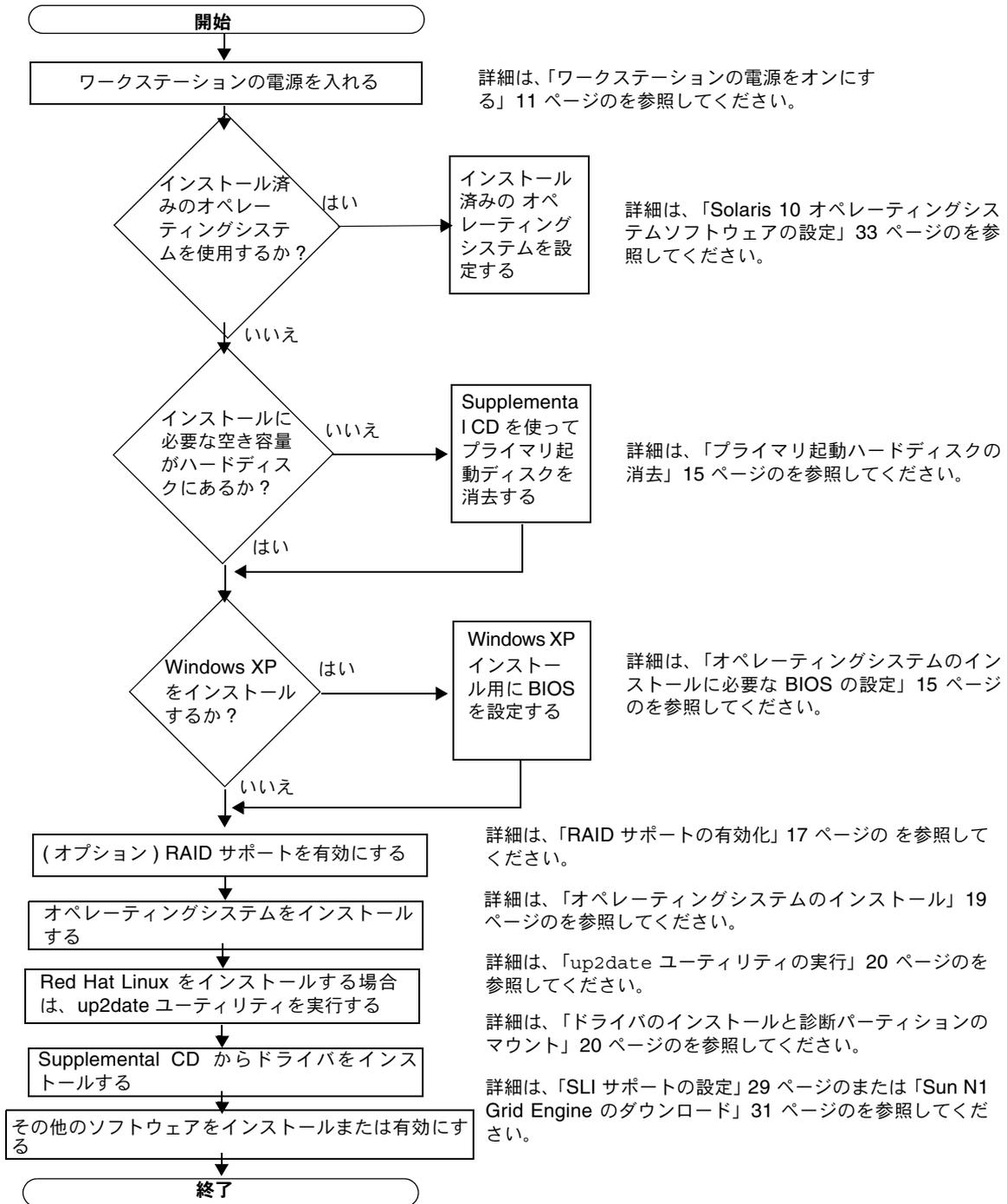


図 2-1 オペレーティングシステムのインストール手順

プライマリ起動ハードディスクの消去

オペレーティングシステムのインストールに必要な空き容量が起動パーティションに存在しない場合、またはインストール済みのオペレーティングシステムを削除する必要がある場合は、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD のメインメニューにある「Erase Primary Boot Hard Disk」オプションを使用して、他にインストールされているオペレーティングシステムを消去し、新しくインストールするときに必要な空き容量を増やすことができます。



警告 - Supplemental CD から「Erase Primary Boot Hard Disk」オプションを選択すると、診断パーティションを除くすべてのパーティションがハードドライブから消去されます。ユーザーのデータはすべて失われます。この操作を行う前に、必ずハードドライブ上のすべてのデータをバックアップしてください。

プライマリ起動ハードディスクを消去するには、次の手順に従います。

1. ハードドライブに保存するデータをすべてバックアップします。
2. Supplemental CD をワークステーションに挿入します。
3. Supplemental CD のメインメニューが表示されたら、次のオプションを選択します。
 3. Erase Primary Boot Hard Disk

このオプションを選択すると、プライマリハードドライブに存在しているパーティションが、診断パーティションを除いてすべて消去されます。診断パーティションが存在する場合、このパーティションはそのままになります。

オペレーティングシステムのインストールに必要な BIOS の設定

Sun Ultra 40 Workstation にオペレーティングシステムをインストールする場合は、BIOS を正しく設定してからソフトウェアをインストールする必要があります。後述するセクションの中から、これからインストールするオペレーティングシステムに合うものを選んで参照してください。

Windows XP オペレーティングシステムを対象とした BIOS の設定

Windows XP オペレーティングシステムをインストールする場合は、「Installed O/S」オプションを「Windows」に変更する必要があります。

1. ワークステーションの電源をオンにし、Sun のロゴ画面が表示されている間に F2 キーを押して、「BIOS Setup」メニューを表示します。
2. 「Advanced」タブを選択します。
3. 「Installed O/S」オプションを「Windows」に変更します。
4. F10 キーを押して、変更内容を保存し BIOS を終了します。

Linux オペレーティングシステムまたは Solaris 10 オペレーティングシステムを対象とした BIOS の設定

「Installed O/S」オプションのデフォルトは「Others」です。このデフォルト設定が変更されていなければ、Solaris または Linux オペレーティングシステムをインストールするときに、この設定を行う必要はありません。

BIOS の「Installed O/S」オプションがデフォルト設定から変更されている場合には、Linux オペレーティングシステム (Red Hat Enterprise Linux 3 と 4、および SUSE Linux Enterprise Server 9) または Solaris 10 オペレーティングシステムをインストールするために、次の操作を行う必要があります。

1. ワークステーションの電源をオンにし、Sun のロゴ画面が表示されている間に F2 キーを押して、「BIOS Setup」メニューを表示します。
2. 「Advanced」タブを選択します。
3. 「Installed O/S」オプションを「Others」に変更します。
4. F10 キーを押して、変更内容を保存して BIOS 設定ユーティリティを終了します。

RAID サポートの有効化

Sun Ultra 40 Workstation の RAID サポートを有効にするには、Sun Ultra 40 Workstation の BIOS と NVRAID の BIOS を設定する必要があります。この手順では、RAID を設定するために診断パーティションを作成する方法についても説明します。

RAID の設定

1. Sun Ultra 40 Workstation の BIOS で RAID を設定します。
 - a. ワークステーションを再起動し、Sun のロゴ画面が表示されている間に F2 キーを押して「BIOS Setup」メニューを表示します。
 - b. メインメニューから「Advanced」タブを選択します。
 - c. 「Integrated Devices」を選択します。
 - d. 「NVRAID configuration」を選択します。
 - e. 「NVRAID Configuration」を「Enable」に変更します。
 - f. 表示されているチャンネルのうち、ディスクのあるチャンネルで RAID を有効にします。
 - g. F10 キーを押して、変更内容を保存し BIOS を終了します。
2. NVRAID の BIOS で RAID を設定します。
 - a. POST 処理が実行されている間に F10 キーを押して、「NVRAID Setup」ユーティリティを表示します。
 - b. 0 または 1 を選択して RAID アレイを作成します。

設定中にダイアログ ボックスが開き、「Would you like to clear the disk? Select Yes or No」というメッセージが表示されます。
 - c. 「No」を選択し、Ctrl-X キーを押して変更内容を保存します。

RAID ディスクに診断パーティションを作成する

1. Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD を挿入して、ワークステーションを再起動します。
2. Supplemental CD のメニュー画面で「1」を選択して、PC-Check 診断をロードします。

3. 診断プログラムが起動したら、「**Create a Diagnostic Partition**」を選択して「**Yes**」をクリックします。

処理が正常に終了すると、RAID 構成用の診断パーティションが作成されます。

「**Unknown Partition on Disk**」というエラーメッセージが表示されたら、ステップ 4 に進みます。

4. プライマリ起動パーティションを消去します。



警告 - Supplemental CD から「**Erase Primary Boot Hard Disk**」オプションを選択すると、診断パーティションを除くすべてのパーティションがハードドライブから消去されます。ユーザーのデータはすべて失われます。オペレーティングシステムをインストールする前に、必ずこのオプションを使用してください。

- a. 診断プログラムを終了し、**Supplemental CD** を挿入した状態でワークステーションを再起動します。
- b. メニュー画面で「3」を選択して **Erase Primary Boot Hard Disk** ユーティリティを起動します。

このユーティリティを実行すると、ディスク上のすべてのパーティションが消去されます。
- c. 前述のステップ 2 を参照してください。

オペレーティングシステムのインストール

Sun Ultra 40 Workstation には、Solaris 10 オペレーティングシステムがあらかじめインストールされています。Sun Ultra 40 Workstation でサポートされている他のオペレーティングシステムを選んでインストールすることもできます。

注 - インストール作業に支障が生じないように、オペレーティングシステム (OS) の最新アップデートを実行するようにしてください。一部の OS では、最新のアップデートを使用しないと、正常にインストールできない場合があります。

Sun Ultra 40 Workstation でサポートされている他のオペレーティングシステムは次のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 4 Update 2 (32 ビット版および 64 ビット版)
- RHEL 3 Update 6 (32 ビット版および 64 ビット版)
- SUSE Linux Enterprise (SLES) SP3 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows XP32 SP2
- Windows XP64

これらのオペレーティングシステムをインストールする手順は、オペレーティングシステムソフトウェアに同梱されているメディアセットに収録されています。

ワークステーションに Windows XP ソフトウェアをインストールし、RAID を構成する場合は、Windows XP のインストール後に RAID ドライバをインストールする必要があります。詳細は、「Windows XP オペレーティングシステム対応ドライバのインストール」23 ページのと「RAID サポートの有効化」17 ページのを参照してください。

注 - 診断パーティションは、Sun Ultra 40 Workstation にあらかじめインストールされています。ワークステーションから診断パーティションが削除されている場合は、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』(819-3952) で、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD から診断パーティションを再インストールする方法を参照してください。

up2date ユーティリティの実行

Red Hat Enterprise Linux ソフトウェアをインストールする場合は、オペレーティングシステムのインストールが完了してから、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD からビデオドライバをインストールするまでの間に、up2date ユーティリティを実行してください。

注 - すでに NVIDIA ドライバをインストールしている場合は、カーネルが更新されているため、up2date の実行後に NVIDIA ドライバを再インストールする必要があります。

ドライバのインストールと診断パーティションのマウント

オペレーティングシステムのインストールが完了したら、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD に収録されているインストールスクリプトを実行して、オペレーティングシステムに対応するドライバをインストールします。

Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD は、Sun Ultra 40 Workstation に付属しています。

新しい診断パーティションを作成した場合にも、サポートされているすべてのオペレーティングシステム用の診断パーティションをマウントするために、インストールスクリプトを実行する必要があります。診断パーティションの作成方法については、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』(819-3952) を参照してください。Windows XP ソフトウェアが動作しているワークステーションに、診断パーティションをマウントすることはできません。

このセクションでは、次の項目について説明します。

- 「Linux オペレーティングシステム対応ドライバのインストール」 21 ページの
- 「Solaris オペレーティングシステム対応ドライバのインストール」 22 ページの
- 「Windows XP オペレーティングシステム対応ドライバのインストール」 23 ページの
- 「Windows XP 対応の NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバのインストール」 27 ページの

Linux オペレーティングシステム対応ドライバのインストール

Linux オペレーティングシステムが動作している環境で、ビデオドライバとチップセットドライバのインストール、および診断パーティションのマウントを行うには、次の手順に従います。

1. Sun Ultra 40 Workstation に、スーパーユーザーとしてログインします。
2. DVD ドライブに Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD を挿入し、次のコマンドを入力します。

```
cd /mountpoint/drivers/linux/operating_system
```

/mountpoint には CD をマウントするディレクトリを指定し、*operating_system* にはワークステーションにインストールされている Linux の種類 (*red_hat* または *suse*) を指定します。

- ディレクトリが存在しない場合、CD は自動的にマウントされません。ステップ 3 およびステップ 4 の記述に従って、CD をマウントしてから、正しいディレクトリに移動する必要があります。
 - *operating_system* ディレクトリにアクセスできた場合は、ステップ 5 に進みます。
3. CD が自動的にマウントされない場合は、端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力して CD をマウントします。

```
# mount -o ro /dev/cdrom /mountpoint
```

/mountpoint には OS と光学ドライブの種別に対応するマウントポイントを指定します。

たとえば、次のように入力します。

```
# mount -o ro /dev/cdrom /mnt/dvdrom
```

4. */mountpoint/drivers/linux/operating_system* ディレクトリに移動します。
/mountpoint には CD をマウントするディレクトリを指定し、*operating_system* にはワークステーションにインストールされている Linux の種類 (*red_hat* または *suse*) を指定します。
たとえば、次のように入力します。

```
# cd /mnt/dvdrom/drivers/linux/red_hat
```

5. 次のコマンドを入力して、インストールスクリプトを実行します。

```
#./install.sh
```

X サーバーが動作している場合、このスクリプトは実行されません。

- スクリプトが終了してエラーメッセージが表示される場合は、ステップ 6 に進みます。
 - スクリプトが正常終了したら、ステップ 7 に進みます。
6. スクリプトが終了してエラーメッセージが表示される場合は、次の手順に従って X サーバーを無効にします。
 - a. システムプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
% init 3
```

- b. スーパーユーザーとしてログインします。
 - c. ステップ 4 およびステップ 5 を繰り返します。
7. ドライバのインストールが完了したら、CD を取り出します。
 8. ワークステーションを再起動します。
 9. SLI サポートを有効にする場合は、「SLI サポートの設定」29 ページのの手順に従ってください。

Solaris オペレーティングシステム対応ドライバのインストール

Solaris 10 オペレーティングシステムが動作している環境で、ドライバのインストールと診断パーティションのマウントを行うには、次の手順に従います (Solaris オペレーティングシステムがあらかじめインストールされていない場合)。

1. Sun Ultra 40 Workstation に、スーパーユーザーとしてログインします。
2. DVD ドライブに Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD を挿入します。
CD が自動的にマウントされます。
3. 次のコマンドを入力して、/cdrom/cdrom0/drivers/sx86 ディレクトリに移動します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/drivers/sx86
```

4. 次のコマンドを入力して、インストールスクリプトを実行します。

```
#./install.sh
```

この段階で、ビデオドライバがインストールされ、診断パーティションがマウントされています。

変更内容を有効にするためにシステムの再起動が必要であるというメッセージが表示されます。

5. CD を取り出します。
6. サーバーを再起動します。
7. システムのネットワーク情報を入力するように要求されたら、サーバーのネットワーク情報を入力します。

Windows XP オペレーティングシステム対応 ドライバのインストール

Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD には、Windows XP 対応の NVRAID ドライバ、NVIDIA ディスプレイドライバ、および NVIDIA チップセットドライバが収録されています。一連の NVRAID ドライバをインストールする場合は、Windows XP オペレーティングシステムをインストールする前に、XpReburn スクリプトを使用して必要なドライバが入った Windows XP の CD を新しく作成するか、ドライバインストール用の起動ディスクを作成する必要があります。

Windows XP ドライバをインストールする順序は次のとおりです。

1. ワークステーションの RAID 機能を使用する場合は、オペレーティングシステムをインストールする前に、次のいずれかの方法で NVRAID ドライバをインストールします。
 - 「XPReburn スクリプトによる RAID ドライバのインストール」 24 ページの
 - 「起動ディスクを使った RAID ドライバのインストール」 25 ページの
2. オペレーティングシステムをインストールします。
3. 「Windows XP 対応の NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバのインストール」 27 ページので説明する手順に従い、Supplemental CD を使用して、ディスプレイドライバとチップセットドライバをインストールします。
4. 必要に応じて、「Atmel TPM ドライバと RealTek オーディオドライバのインストール」 28 ページので説明する手順に従って、Atmel TPM ドライバと RealTek オーディオドライバをインストールします。

5. 必要に応じて、「SLI サポートの設定」29 ページので説明する手順に従って、SLI のサポートを有効にします。

注 - Windows XP ソフトウェアの場合は、Supplemental CD を使用しても、診断パーティションはマウントできません。

XPReburn スクリプトによる RAID ドライバのインストール

Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD には、新しい Windows XP の CD を作成するためのスクリプトが収録されており、作成後の CD には必要な RAID ドライバが収録されます。新しい CD を作成したら、その CD から起動して通常どおり Windows XP をインストールできます。この新しい CD を挿入すると、ドライバが自動的にインストールされるため、USB ディスクドライブを使用して NVRAID ドライバをインストールする必要がなくなります。

XpReburn スクリプトに関する詳細な最新情報については、Supplemental CD の /drivers/utilities/XpReburn にあるスクリプトの先頭の記述を参照してください。

RAID 構成の Windows XP をインストールする場合、次のものが必要となります。

- x86 システム対応の Solaris Operating System、Red Hat Enterprise Linux 3 または 4、または SUSE Linux Enterprise Server (SLES 9) がインストールされているシステム
- CD 作成ソフトウェア
- 空の CD-R または CD-RW
- Windows XP Professional インストール CD (市販メディアのみ、OEM 版は不可)
- Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD

Sun Ultra 40 Workstation のドライバが入った Windows XP の CD を作成するには、次の手順に従います。

1. Solaris x86、Solaris OS (SPARC プラットフォーム版)、Red Hat Enterprise Linux 3 か 4、または SLES 9 ソフトウェアが動作しているシステムに、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD を挿入します。
2. スーパーユーザーとしてログインし、容量が 1.2G バイト以上ある一時ディレクトリを作成します。
たとえば、次のように入力します。

```
# mkdir /files
```

- 作成したディレクトリに、`XpReburn_version.zip` ファイルをコピーします。
`version` は最新バージョンの `XpReburn` を表します。
たとえば、次のように入力します。

```
# cp /drivers/utilities/XpReburn_1.0.zip /files
```

- Supplemental CD** を取り出して、市販の **Windows XP 32 Professional CD** を挿入します。
- `XpReburn_version.zip` ファイルを解凍します。
たとえば、次のように入力します。

```
# unzip -q XpReburn_1.0.zip
```

- XpReburn** スクリプトを実行します。
たとえば、次のように入力します。

```
# ./files/XpReburn
```

現在のディレクトリにコピーされるドライバファイルが表示されます。このディレクトリに 4 つのドライバファイルがすべてコピーされると、新しい ISO イメージが作成されます。システムに CD 作成ソフトウェアがインストールされている場合は、その ISO イメージが CD に自動的に書き込まれます。

- CD の作成が完了したら、**Sun Ultra 40 Workstation** に **Windows XP Professional** ソフトウェアをインストールします。
- OS のインストールが完了したら、「**Windows XP 対応の NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバのインストール**」27 ページの記述に従って、**NVIDIA ディスプレイドライバ**をインストールします。

起動ディスクを使った RAID ドライバのインストール

このセクションでは、**Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD** を使用して **NVIDIA RAID** ドライバ用の起動ディスクを作成する方法、およびワークステーションにドライバをインストールする方法について説明します。

起動ディスクを使用して **NVIDIA RAID** ドライバをインストールする場合、次のものが必要となります。

- **Microsoft Windows** ソフトウェアがインストールされているシステム (CD ドライブとフロッピーディスクドライブが装備されていること)

- 空のフロッピーディスク
- Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD
- USB フロッピードライブ
- Windows XP Professional インストール CD (市販メディアのみ、OEM 版は不可)

このセクションは、次の項目で構成されています。

- 「NVIDIA RAID ドライバ用の起動ディスクの作成」 26 ページの
- 「Windows XP ドライバと NVIDIA RAID ドライバのインストール」 26 ページの

NVIDIA RAID ドライバ用の起動ディスクの作成

1. Microsoft Windows ソフトウェアが動作しているシステムに、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD を挿入します。
2. 次のコマンドを入力して、Supplemental CD の目的のディレクトリに移動します。

```
C:\> cd/D D:\drivers\windows\OS\chipset
```

OS には XP32 または XP64 を指定します。

3. ワークステーションに空のフロッピーディスクを挿入します。
4. ディレクトリ内のすべてのファイルを選択し、フロッピーディスクドライブ (a:) にそのファイルをコピーします。

Windows XP ドライバと NVIDIA RAID ドライバのインストール

Sun Ultra 40 Workstation に Windows XP と NVIDIA RAID ドライバをインストールするには、次の手順に従います。

1. システムの BIOS と NVIDIA の BIOS が、RAID 処理用に設定されていることを確認します。詳細は、「RAID サポートの有効化」 17 ページのを参照してください。
2. ワークステーションに、USB フロッピーディスクドライブを接続します。
3. 32 ビット版または 64 ビット版の Windows XP インストール CD を、DVD ドライブに挿入します。
4. F6 キーを押して、サードパーティ製の RAID ドライバをインストールします。
5. S キーと Enter キーを押してその他のドライバを指定し、「NVIDIA RAID ドライバ用の起動ディスクの作成」 26 ページので作成したディスクを挿入します。
6. 「NVIDIA NForce Storage Controller」を選択します。

7. S キーと Enter キーを押してその他のドライバを指定します。
8. 「NVIDIA RAID CLASS DRIVER」を選択します。
9. Enter キーを押して、Windows XP のインストールを続行します。
10. OS のインストールが完了したら、「Windows XP 対応の NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバのインストール」27 ページの記述に従って NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバをインストールします。

Windows XP 対応の NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバのインストール

注 - XpReburn オプションを使用して NVRAID ドライバの入った Windows XP の CD を作成した場合は、チップセットドライバをインストールする必要はありません。ディスプレイドライバのみをインストールしてください。

Windows XP のインストール後に NVIDIA ディスプレイドライバとチップセットドライバをインストールするには、次の手順に従います。

1. DVD ドライブに Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD を挿入します。
2. 必要に応じて、次の手順に従って、チップセットドライバをインストールします。
 - a. 次のコマンドを入力して、Supplemental CD の目的のディレクトリに移動します。

```
C:\> cd/D D:\drivers\windows\OS\chipset
```

OS には XP32 または XP64 を指定します。

- b. 実行可能ファイルをダブルクリックします。
 - c. インストールソフトウェアの指示に従って操作します。
3. 次の手順に従って、ディスプレイドライバをインストールします。
 - a. 次のコマンドを入力して、Supplemental CD の目的のディレクトリに移動します。

```
C:\> cd/D D:\drivers\windows\OS\video
```

OS には XP32 または XP64 を指定します。

- b. 実行可能ファイルをダブルクリックします。

- c. インストールソフトウェアの指示に従って操作します。
4. ワークステーションから CD を取り出します。
5. ワークステーションを再起動します。

Atmel TPM ドライバと RealTek オーディオドライバのインストール

必要に応じて、Supplemental CD に収録されている Trusted Platform Computing (TPM) 1.2 と RealTek デジタルオーディオ (SPDIF) を使用します。これらの機能を使用するには、ドライバをインストールする必要があります。

注 - Atmel TPM ドライバがインストールされていない場合は、デバイスマネージャに黄色い警告マークが表示されます。

Atmel ドライバのインストール

1. DVD ドライブに Supplemental CD を挿入します。
2. 次のコマンドを入力して、Supplemental CD ディレクトリに移動します。

```
C:\> cd/D D:\drivers\windows\OS\optional\atmel\
```

OS には XP32 または XP64 を指定します。

3. Atmel_TPM_Driver_X.X.X.XX.msi アイコンをダブルクリックし、ウィザードの指示に従ってドライバをインストールします。

RealTek オーディオドライバのインストール

1. 現在 NVIDIA サウンドドライバがインストールされている場合は、そのドライバを削除します。
このドライバは、NVIDIA チップセットパックのインストール時に、その一部としてインストールされます。
2. DVD ドライブに Supplemental CD を挿入します。

3. 次のコマンドを入力して、Supplemental CD ディレクトリに移動します。

```
C:\> cd/D D:\drivers\windows\OS\optional\audio\realtek\
```

OS には XP32 または XP64 を指定します。

4. ファイルを解凍して、実行可能ファイルをダブルクリックします。
5. ウィザードの指示に従ってドライバをインストールします。

SLI サポートの設定

SLI に関する情報と、サポートされている最新のドライバについては、www.slizone.com を参照してください。

NVIDIA SLI (Scalable Link Interface) は、1 つのシステムに複数の NVIDIA GPU を装着することで、グラフィックスのパフォーマンスと画質の両方を向上させる高性能テクノロジーです。SLI テクノロジーを使用することで、2 つの GPU のジオメトリおよびフィルレートパフォーマンスの両方を向上させることができます。

SLI 機能を有効にするには、同じカードが 2 枚取り付けられている必要があります。Sun Ultra 40 Workstation で SLI 機能に有効にできるグラフィックカードは次のとおりです。

- FX1400
- FX3450
- FX4500

ワークステーションにこれらのカードがすでに取り付けられている場合は、SLI コネクタもすでに取り付けられています。他にも 1 枚または複数のカードを取り付ける必要がある場合は、『Sun Ultra 40 Workstation の点検、診断、およびトラブルシューティングに関するマニュアル』の手順に従ってください。

Windows XP での SLI の有効化

1. NVIDIA グラフィックドライバを今までにインストールしたことがない場合は、Supplemental CD に収録されているドライバをインストールします。

詳細は、「Windows XP オペレーティングシステム対応ドライバのインストール」23 ページのを参照してください。

2. デスクトップを右クリックするか、タスクバーにある NVIDIA 設定アイコンをクリックして、「nvidia display」->「GDM-5510」の順に選択します。
3. 「SLI-Multi GPU」を選択し、その横にチェックマークを付けて、SLI multi-GPU を有効にします。
SLI が有効になったことと、再起動が必要であることを示すメッセージが表示されます。
4. ワークステーションを再起動します。

Linux での SLI の有効化

Linux オペレーティングシステムで SLI を有効にするには、次の手順に従います。

1. root (スーパーユーザー) としてワークステーションにログインします。
2. まだ Linux ディスプレイドライバをインストールしていない場合は、そのドライバをインストールします。
詳細は、「Linux オペレーティングシステム対応ドライバのインストール」21 ページのを参照してください。
3. 次のコマンドを実行します。

```
# nvidia-xconfig --sli=on
```

これにより、X 構成ファイルが自動的に変更されます。

4. ワークステーションを再起動します。

他の処理モードを設定する方法については、Readme を参照してください。Readme は次のいずれかの場所にあります。

- ディスプレイドライバをインストールした後のハードドライブ：
/usr/share/doc/NVIDIA_GLX-1.0/readme.txt または
- Supplemental CD: /drivers/linux/OS/display/readme.txt.
OS には red_hat または suse が割り当てられます。

Sun N1 Grid Engine のダウンロード

Sun Ultra 40 Workstation には、Sun の N1 Grid Engine に対する完全なライセンスが供与された RTU が 2 つ入っています。サポートを購入する際に、追加のライセンスは必要ありません。この RTU は、付属元の Sun Ultra 40 Workstation でのみ使用可能です。RTU は譲渡することも、他のハードウェアで使用することもできません。

N1 Grid Engine には最先端の技術が採用されており、高い性能が必要なアプリケーションに未使用のリソースを割り当てることができるため、システムの生産性を向上させることができます。N1 Grid Engine を使用すれば、数千台ものワークステーションを一体化でき、コンピュータリソースの利用率を飛躍的に増加させることができるため、企業は、生産性と稼働率の向上を達成し、既存の IT 資産を有効活用して経費を節減できます。

Sun N1 Grid Engine ソフトウェアの詳細は、次の Web サイトを参照してください。
<http://www.sun.com/gridware>

「Get the Software」 ボタンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードしてください。

インストール済み ソフトウェアの設定

Solaris 10 オペレーティングシステムおよびその他の開発ソフトウェアは、Sun Ultra 40 Workstation にあらかじめインストールされています。この章では、オペレーティングシステムの設定方法と、システムにインストールされているソフトウェアの使用方法について説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- 「Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアの設定」 33 ページの
- 「インストール済みの開発ソフトウェアの設定」 38 ページの
- 「インストール済みのソフトウェアの復元とバックアップ」 40 ページの

Solaris 10 オペレーティングシステム ソフトウェアの設定

このセクションでは、次のトピックで構成されています。

- 「ライセンス情報」 34 ページの
- 「ディスクの構成」 34 ページの
- 「Solaris のインストール手順」 35 ページの
- 「インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定」 36 ページの

ライセンス情報

ワークステーションにインストールされているバージョンの Solaris 10 オペレーティングシステムには、ライセンス料は必要ありません。別のバージョンの Solaris ソフトウェアをインストールする場合は、新しいソフトウェアバージョンのライセンス料を支払う必要があります。Sun Ultra 40 Workstation には、Solaris 10 HW 1/06 オペレーティングシステムまたはその互換バージョンが必要です。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/licensing/index.html>

ディスクの構成

あらかじめインストールされている構成は次のとおりです。

- ハードドライブの root パーティション - 14.0G バイト
- ハードドライブの swap パーティション - 2.0G バイト
- ハードドライブの var パーティション - 6.0G バイト
- ハードドライブの export パーティション - ディスクの残りの領域

Solaris のインストール手順

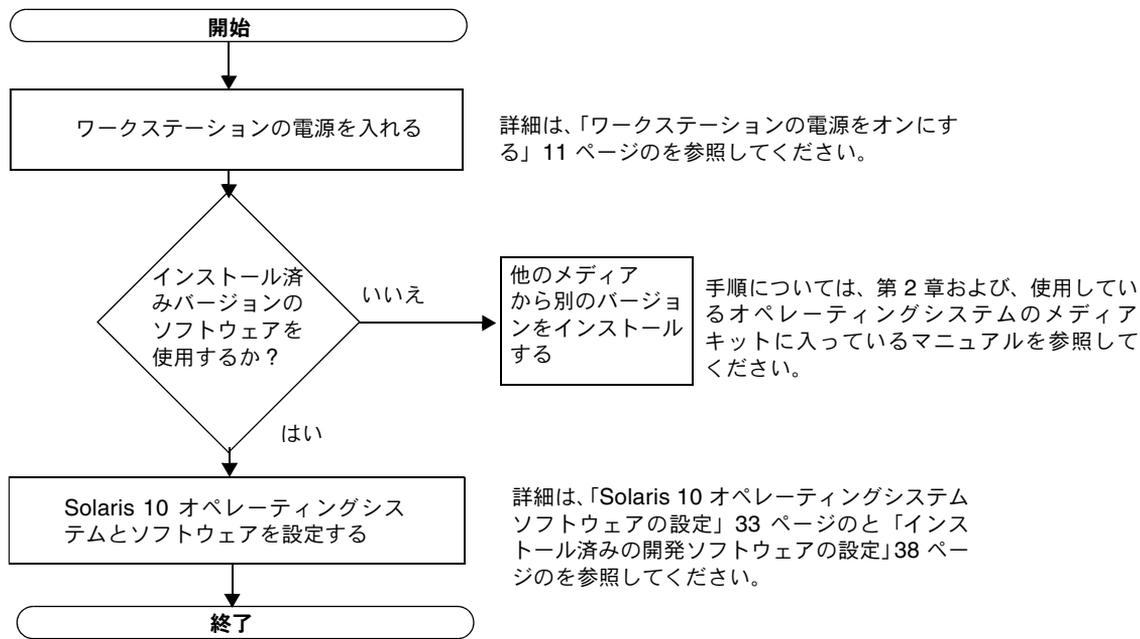


図 3-1 Solaris ソフトウェアのインストール手順

インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムの設定

インストール済みの Solaris 10 オペレーティングシステムを設定するには、次の手順に従います。

1. ワークステーションの電源をオンにします。

詳細は、「ワークステーションの電源をオンにする」11 ページのを参照してください。

2. 画面に表示される指示に従って、セットアップの設定項目に入力します。

Solaris 10 オペレーティングシステムを設定する前に、表 3-1 を参照しながら、収集する必要がある情報を記録します。

表の情報をすべて収集するときは、事前にシステム管理者 (SA) に問い合わせ、サイト固有の情報を入手しておきます。ネットワークに関する情報があるかどうかを、SA に確認してください。

3. 設定を完了すると、ワークステーションが再起動します。

ワークステーションにログインウィンドウが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインし、ワークステーションを操作することができます。

注 - インストール済みの開発ソフトウェアのアイコンを表示するために、**Java Desktop System (JDS)** デスクトップオプションを選択してからログインします。開発ソフトウェアの詳細は、「インストール済みの開発ソフトウェアの設定」38 ページのを参照してください。

4. インストール済みソフトウェアの最新情報については、『Solaris 10 Operating System Release Notes』を参照してください。

『Solaris 10 オペレーティングシステム Release Notes』は、次の Web サイトで入手できます。

<http://docs.sun.com>

表 3-1 インストール済みの Solaris 10 の設定に関する情報

| 設定ウィンドウ | 説明と注記 | 自分の情報 |
|--|--|-------|
| Select Language and Locale | ワークステーションで使用するネイティブの言語とロケール。 | |
| Host Name | ワークステーションに付ける名前。 | |
| Network Connectivity (IP Address) | ネットワークまたはスタンドアロンのワークステーションのプロトコル。この情報を収集するには、システム管理者の協力が必要な場合があります。 注： 設定内容やネットワークから取得した情報によっては、ワークステーションの IP アドレスの入力を要求される場合があります。 | |
| Security Settings | セキュリティ設定とプロトコル。 | |
| Name Service | ネームサービス。使用可能なネームサービスは、NIS+、NIS、DNS、LDAP、または None のいずれかです。 注： ワークステーションがネットワークに接続されていない場合、このウィンドウは表示されません。 | |
| Domain Name | このワークステーションの NIS または NIS+ ドメイン。 注： ワークステーションが NIS と NIS+ のいずれのサービスも使用していない場合、このウィンドウは表示されません。 | |
| Name Server/ Subnet/ Subnet Mask | ネームサーバー。サーバーを指定するか、ワークステーションを使用してローカルサブネット上でサーバーを検出します。 注： ワークステーションがネットワークに接続されていない場合、このウィンドウは表示されません。 注： 設定内容やネットワークから取得した情報によっては、次の項目の入力を要求される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • ワークステーションのサブネット • ワークステーションのサブネットマスク | |
| Time Zone | その地域のタイムゾーン。地域、GMT オフセット、またはタイムゾーンファイルから選択します。 | |
| Date and Time | 現在の日付と時刻。デフォルトをそのまま使用するか、現在の日付と時刻を入力します。 | |
| Root Password | ワークステーションの root (スーパーユーザー) のパスワード。 | |

インストール済みの開発ソフトウェアの設定

インストール済みの開発プログラムを起動するには、JDS デスクトップの該当するアイコンをダブルクリックします。

次のセクションでは、Sun Ultra 40 Workstation にあらかじめインストールされているか、またはあらかじめロードされている開発ソフトウェアについて説明します。

- 「Sun Studio 11 ソフトウェア」 38 ページの
- 「Sun Java Studio Creator 2004Q2 Update 8 ソフトウェア」 39 ページの
- 「Sun Java Studio Enterprise 8 ソフトウェア」 40 ページの
- 「Net Beans IDE 4.1」 40 ページの

Sun Studio 11 ソフトウェア

Sun Studio 11 ソフトウェアを使用すると、Solaris オペレーティングシステム対応の、生産性の高い総合的な開発環境を利用でき、C、C++、および Fortran で信頼性、拡張性、および性能に優れたアプリケーションを開発できます。このソフトウェアのパッケージは、コンパイラ、パフォーマンス分析ツール、高性能デバッガ、および統合開発環境 (IDE) で構成されています。

Sun Studio 11 IDE は、C、C++、または Fortran アプリケーションの作成、編集、ビルド、デバッグ、および分析を行うモジュールです。パッケージには、JNI (Java Native Interface) の開発に必要な場合に有効にすることができる、基本的な Java™ 言語サポートモジュールのセットも収録されています。

Sun Studio 11 ソフトウェアは、次の 2 つの主要なコンポーネントで構成されています。

- IDE、コンパイラ、ツール、およびコアプラットフォームを含む Sun Studio コンポーネント
- コアプラットフォームが動作する Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) テクノロジ

Sun Studio 11 ソフトウェアの詳細な情報は、次の Web サイトで入手できます。

- 『Release Notes for Solaris Platforms』は、次の開発者向けのポータルで入手できます。

<http://developers.sun.com/prodtech/cc/documentation/ss11/index.html>

リリースノートの情報は、すべての readme ファイルの情報を元に更新、追加したものです。

- Sun Studio のマニュアルは、次の Web サイトで入手できます。

<http://docs.sun.com>

Sun Java Studio Creator 2004Q2 Update 8 ソフトウェア

Sun Java Studio Creator 開発環境は、Java アプリケーション開発のための次世代ツールです。この製品では、完全な Java 標準の機能と、簡潔で視覚的な開発技術を組み合わせられているため、開発者が Java 環境でアプリケーションを構築するときの効率性と生産性は非常に高くなります。

Java Studio Creator 環境は、ビジネスクリティカルなアプリケーションが変化に迅速に対応できることを中心に考える上級開発者を対象として、その要求性能を満たすように開発されテストされています。Java Studio Creator には、開発者にとって使い慣れた生産性の高い視覚的なインターフェースが装備されており、開発者はこのインターフェースを使うことで、Java プラットフォームの性能を有効活用して、ビジネス上の問題を解決することができます。

Sun Java Studio Creator の詳細な情報は、次の Web サイトにある製品マニュアルに記載されています。

<http://developers.sun.com/prodtech/javatools/jscreator/reference/docs/index.jsp>

Sun Java Studio Enterprise 8 ソフトウェア

Sun Java Studio Enterprise ソフトウェアは、ツール、サポート、およびサービスをすべて一体化した費用効果に優れたプラットフォームで、Sun Java Enterprise System のすべての機能と統合可能な仕様になっています。Sun Java Studio Enterprise を使用すると、生産性の向上が特に配慮された環境でアプリケーションを開発することができ、Java Enterprise System 上で運用する高度なネットワークアプリケーションを簡単に作成できるようになります。

Sun Java Studio Enterprise 8 の詳細な情報は、次の Web サイトにある製品マニュアルに記載されています。

<http://docs.sun.com>

Net Beans IDE 4.1

Net Beans IDE 4.1 の詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.netbeans.org/kb/41/index.html>

インストール済みのソフトウェアの復元とバックアップ

インストール済みソフトウェアの復元

ヒント - すべての Solaris 10 および Java Desktop System (JDS) コンポーネントは、Solaris 10 オペレーティングシステムをダウンロードして入手するか、Solaris 10 メディアキットに収録されています。Solaris 10 および JDS コンポーネントの詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/>

ワークステーションには、Solaris 10 オペレーティングシステムおよびその他のインストール済みソフトウェアが、あらかじめ設定されています。ただし、何らかの理由でハードドライブを交換した場合、交換したドライブには設定済みの Solaris 10 オペレーティングシステムおよびその他のインストール済みソフトウェアは入っていません。

ハードドライブの交換が必要な場合は、システムの復元に使用可能なオペレーティングシステムのフルバックアップを取っておく必要があります。オペレーティングシステムをバックアップする手順は、『Solaris 10 System Administrator Collection』に記載されています。『Solaris 10 System Administration Collection』の詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/>

ハードディスクイメージ (HDI) にあらかじめインストールされているソフトウェアの一部は、Solaris Media Kit の該当するバージョンに収録されている CD-ROM から復元できます。Solaris Media Kit に収録されている一部のソフトウェアは、ワークステーションにあらかじめインストールされているソフトウェアと同じものです。一部のソフトウェアを再インストールする場合、このマニュアルに記載されている Web サイトからソフトウェアをダウンロードする必要があります。Mozilla™ など一部のソフトウェアの開発企業では、それぞれの企業の Web サイトで別のバージョンのソフトウェアが公開されています。

Solaris のインストール済みソフトウェアの復元

注 - Sun Ultra 40 Workstation では、Solaris 10 オペレーティングシステム HW 1/06 以降の互換性のあるバージョンを使用する必要があります。

1. ワークステーションに対応した Solaris Media Kit を入手します。

ワークステーションと一括して購入した場合は、Solaris Media Kit はすでにお手元に届いています。システムと一括してキットを購入しなかった場合は、Sun の営業担当者にお問い合わせください。このときに、該当する言語と Solaris のバージョンに合わせた Solaris Media Kit をご注文ください。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/>

2. キットに付属の「Start Here」ドキュメントのインストール手順に従います。

Solaris オペレーティングシステム以外にも、必要に応じてソフトウェアをインストールできます。

この Web サイトでは、パッチ情報も入手できます。パッチは次の Web サイトからもダウンロードできます。

<http://sunsolve.sun.com/>

他のソフトウェアの再インストール

他のソフトウェアパッケージを再インストールする場合は、必ず最新バージョンのソフトウェアを入手してください。最新バージョンのソフトウェアの詳細は、このガイドに記載されている **Web** サイトを参照してください。

別のハードドライブにインストール済みのイメージをバックアップする

ハードドライブのバックアップの詳細は、『**Solaris 10 System Administration Guide**』に記載されています。このガイドを入手するには、次の **Web** サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/>

ハードドライブのミラーリング

Solaris 10 オペレーティングシステム環境でハードドライブのミラーリングを実行するには、**Solaris Volume Manager** を使用します。

Solaris Volume Manager の詳細は、次の **Web** サイトにアクセスして『**Solaris Volume Manager Administration Guide**』を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>